第2期
しずおか中部
連携中枢都市圏
ビジョン

2022 年度−2026 年度

2024 年 3 月　静岡市

目　　次

■ 第１章　しずおか中部連携中枢都市圏ビジョンの概要

1　ビジョン策定の趣旨 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2　連携中枢都市圏形成までの経過 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3　連携中枢都市圏の名称・構成自治体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
4　計画期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
5　推進体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

■ 第２章　圏域の現状

1　構成自治体の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2　圏域人口の推移と将来推計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
3　構成自治体から静岡市への通勤・通学の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
4　事業所数・就業者数・産業別就業者数の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
5　都市機能の集積・利用状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
6　観光交流の状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

■ 第３章　第１期計画期間における目標値の達成状況等

1　第１期計画期間における目標値の達成状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
2　住民アンケートの結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
3　第１期計画期間における取組のまとめ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

■ 第４章　圏域が目指す将来像と人口目標

1　圏域が目指す将来像 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
2　圏域が目指す人口目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

■ 第５章　施策の体系と重要業績評価指標（KPI）

1　施策の体系 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
2　重要業績評価指標（KPI） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

■ 第６章　具体的取組

1　具体的取組（一覧） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
2　具体的取組（事業概要） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

第１章　しずおか中部連携中枢都市圏ビジョンの概要

１　ビジョン策定の趣旨

全国的に人口減少・少子高齢化が進展する中、地方においては、住民の皆さまが快適で安心して暮らしていくための基盤が失われるとともに、地方自治体が行政サービスを持続的に提供できなくなってしまうことが懸念されています。

このような人口減少・少子高齢化社会にあっても、地域を活性化し、経済を持続可能なものとし、住民の皆さまが安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするため、圏域の中心都市が、近隣の市町と連携し、コンパクト化とネットワーク化により様々な取組を行うことにより、一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することを目的に、平成 26 年、国から「連携中枢都市圏構想」が示されました。

この「連携中枢都市圏構想」の趣旨に沿い、静岡県中部地域の静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町及び川根本町の５市２町では、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」に連携して取り組み、それぞれが持つ力の総和以上の総合力を発揮することにより、人口減少等、共通して抱える大きな課題に立ち向かっています。

本ビジョンは、将来にわたる県中部地域の一体的な発展を目指すための取組の方向性等を示すとともに、今後の具体的な取組を推進していくための計画として、策定するものです。

２　連携中枢都市圏形成までの経過

平成 26 年８月 22 日	**【静岡県中部５市市長会議】** 人口減少、少子高齢化社会の進展を踏まえて、「地方中枢拠点都市制度」（現連携中枢都市圏構想）を念頭に、県中部地域の２町も参画して広域連携を推進することを合意
平成 27 年８月 31 日	**【静岡県中部５市２町首長会議】**　「新たな広域連携促進事業」の進め方を協議
平成 28 年３月１日	**【連携中枢都市宣言】**　静岡市が県中部５市２町の連携中枢都市として宣言
平成 28 年３月 31 日	**【連携協約締結】**　静岡市と焼津市が連携協約を締結
平成 28 年４月 28 日	**【しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン（静岡市・焼津市）策定・公表】**
平成 28 年８月２日	**【平成 28 年度第１回静岡県中部５市２町首長会議】** 県中部５市２町が連携して地方創生に取り組むために、連携中都市圏の形成を念頭に、首長同士の議論を加速化させることを同意
平成 28 年 12 月 27 日	**【平成 28 年度第２回静岡県中部５市２町首長会議】** 島田市、藤枝市、牧之原市、吉田町及び川根本町の３市２町並びに静岡市が、平成 28 年度内の連携協約締結を目指すとともに、連携協約締結後、５市２町による「しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」を策定することを合意
平成 29 年３月 30 日	**【連携協約締結】** 静岡市と島田市、藤枝市、牧之原市、吉田町及び川根本町が、連携協約を締結 **【しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン（静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町・川根本町）策定・公表】**

3　連携中枢都市圏の名称・構成自治体

（１）連携中枢都市圏の名称

しずおか中部連携中枢都市圏

（２）連携中枢都市圏の構成自治体

静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町

（静岡県中部地域の５市２町）

4　計画期間

令和４年度（2022 年度）から令和８年度（2026 年度）までの５年間

5　推進体制

ビジョンの進行管理や見直しを行う、ビジョンの推進組織として、「静岡県中部５市２町首長会議」を最上位に位置付け、その下に設置されている「同 担当部課長会議」によって、ビジョン全体の推進を図っていきます。

また、本ビジョンに登載されている個々の取組の実施にあたっては、５市２町の事業所管部署間における緊密な連携を図るため、個々の取組ごとに連絡体制を構築し、必要に応じて事業連絡会を設置します。

なお、ビジョンの見直しに際しては、関係者の意見を幅広く反映させるため、ビジョンに登載されている取組に関連する分野や機関の委員で構成する「しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン懇談会」を設置し、ビジョンの進行管理及び見直し等に関する検討を行います。

▲ ビジョン推進体制のイメージ

第２章　圏域の現状

１　構成自治体の概要

※ 各自治体の人口、世帯数及び面積については、令和２年国勢調査より

静岡市

【人　口】693,389 人

【世帯数】297,421 世帯

【面　積】1,411.83 ㎢

静岡市は、北は赤石岳や聖岳など 3,000m 級の山々が連なる南アルプスから、南は日本最深の駿河湾に至るまで、豊かな自然環境を有する政令指定都市です。

古くから今川氏や大御所時代の徳川家康公の城下町として、独自の文化や産業を育み、発展を続けてきました。

特に「お茶」や「桜えび」、「プラスチックモデル」などの多彩な産業や、国際貿易の拠点である清水港における交易は、市の経済において重要な役割を担っています。

また、登呂遺跡や久能山東照宮などの歴史的遺跡・建造物は、市のみならず我が国の大切な財産です。

日本平から望む清水港 ▲

島田市

【人　口】95,719 人

【世帯数】35,395 世帯

【面　積】315.70 ㎢

島田市は、南アルプスを源とする大井川の中流域に位置しており、北部の山々をはじめ四季に応じて彩られる豊かな自然に囲まれた都市です。旧東海道の宿場町として発展した歴史と文化を今に伝え、文金高島田に代表される島田髷の発祥地としても広く知られています。

平成の大合併を経て一つとなった島田、金谷、川根の３地域では、それぞれその名を冠する県内でも優良な茶を生産しており、地域の人々はお茶を通じた「おもてなしの心」を大切に育んでいます。

これまで育まれてきた風土や歴史・文化を次世代につなぎ、子ども達の健やかな成長のため安全・安心を実感できる都市づくりを進めるとともに、富士山静岡空港や新東名高速道路といった交通結節点としての地の利と、蓬莱橋や川根温泉、川越遺跡、SL などの地域資源を活用し、新たな価値を創造していきます。

桜とＳＬ ▲

焼津市

【人　口】136,845 人
【世帯数】53,243 世帯
【面　積】70.30 ㎢

焼津市は、水産業とともに発展し、港町ならではの歴史・文化や富士山・駿河湾を一望できる海岸線、豊富な伏流水などの地域資源に恵まれたまちです。

また、全国有数の水揚げを誇る焼津漁港では、遠洋・沖合漁業の基地として、主にカツオ・マグロやサバ・アジなどが水揚げされるとともに、大井川港では、貴重なサクラエビやシラスが水揚げされるなど、豊かな水産資源も有しています。

さらに、東名高速道路の焼津インターチェンジ・大井川焼津藤枝スマートインターチェンジや物流機能を持つ大井川港、近傍の富士山静岡空港など、陸・海・空一体となった交通アクセスにおいても優れています。

焼津漁港からみた富士山 ▲

藤枝市

【人　口】141,342 人
【世帯数】53,974 世帯
【面　積】194.06 ㎢

藤枝市は、東海道の宿場町として、岡部宿と藤枝宿の二つの宿場を持ち、交通の要衝として栄えてきました。また、大旅籠柏屋や田中城下屋敷等の史跡、藤枝大祭りや朝比奈大龍勢の伝統行事、お茶の生産地として培われた茶文化、大正時代から続くサッカーなど、豊かな歴史と文化を有する都市です。

持続可能で活力ある健全な都市をめざし、市民の暮らしに直結する４Ｋ（健康・教育・環境・危機管理）施策を重点的に進めるとともに、各地域の個性や特性を活かした多極型の拠点形成と、拠点相互を公共交通や人の交流で有機的につなぐ「コンパクト＋ネットワーク」のまちづくりにＩＣＴやデジタル技術、ビッグデータを戦略的に活用するＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）を推進することで、安全・快適・便利で豊かな暮らしを実現する「スマート・コンパクトシティ」への転換に取り組んでいます。

また、東名高速道路大井川焼津藤枝スマートＩＣや新東名高速道路藤枝岡部インターチェンジがあり、富士山静岡空港とＪＲ藤枝駅を結ぶアクセスバスの運行、国道１号藤枝バイパスの４車線化など、交通インフラを活かした産業の発展や交流人口の拡大をめざす取組を進めています。

「花・水・鳥・笑顔」がテーマの蓮華寺池公園 ▲

牧之原市

【人　口】43,502 人
【世帯数】15,904 世帯
【面　積】111.69 ㎢

牧之原市は、静岡県の中部地区の南に位置し、牧之原（牧ノ原）台地に広がる日本一の大茶園と美しい駿河湾に抱かれた自然豊かな市です。

東名高速道路・相良牧之原インターチェンジと御前崎港、さらには富士山静岡空港が高規格道路で連結された「陸・海・空」の交通結節地となり、産業面を中心に活力あるまちづくりを進めています。

また、日本有数の茶生産地で、茶処静岡県において一番の荒茶生産量となっています。

静岡牧之原茶「望」を中心に「お茶のまち牧之原市」の PR と消費拡大に取り組んでいます。

平成 23 年 10 月 1 日に自治基本条例を施行し、「一人ひとりの思いが生かされるまち」を理念に掲げ、対話による市民協働のまちづくりに取り組んでいます。

サーフィンのメジャーポイント「静波海岸」 ▲

吉田町

【人　口】28,919 人
【世帯数】11,265 世帯
【面　積】20.73 ㎢

吉田町は、大井川河口の西岸に位置し、牧之原（牧ノ原）台地が北西側から中央部に突出しているほかは、町域の 90%以上が標高 20 メートル未満の平坦地です。大井川の豊かな伏流水や東名吉田インターチェンジの開設によって、企業が進出し、工業が盛んになりました。

沿岸部に位置する当町では、喫緊の課題である「津波防災まちづくり」に取り組んでおり、既に津波避難タワーの設置、川尻防潮堤の整備を完了し、現在、新たな安全と新たな賑わいの創出を図るため、住吉防潮堤や東名吉田インターチェンジバスターミナルの整備に取り組んでいます。

第６次吉田町総合計画に掲げる、「豊かで活気にあふれたまち」「心を魅了するまち」の実現のため、確固たる安全を確保するとともに、「子育て」「教育」「健康づくり」といった「支える安心」をきめ細かに提供する取組を進めています。

チューリップまつり「吉田公園」 ▲

川根本町

【人　口】6,206 人

【世帯数】2,639 世帯

【面　積】496.88 ㎢

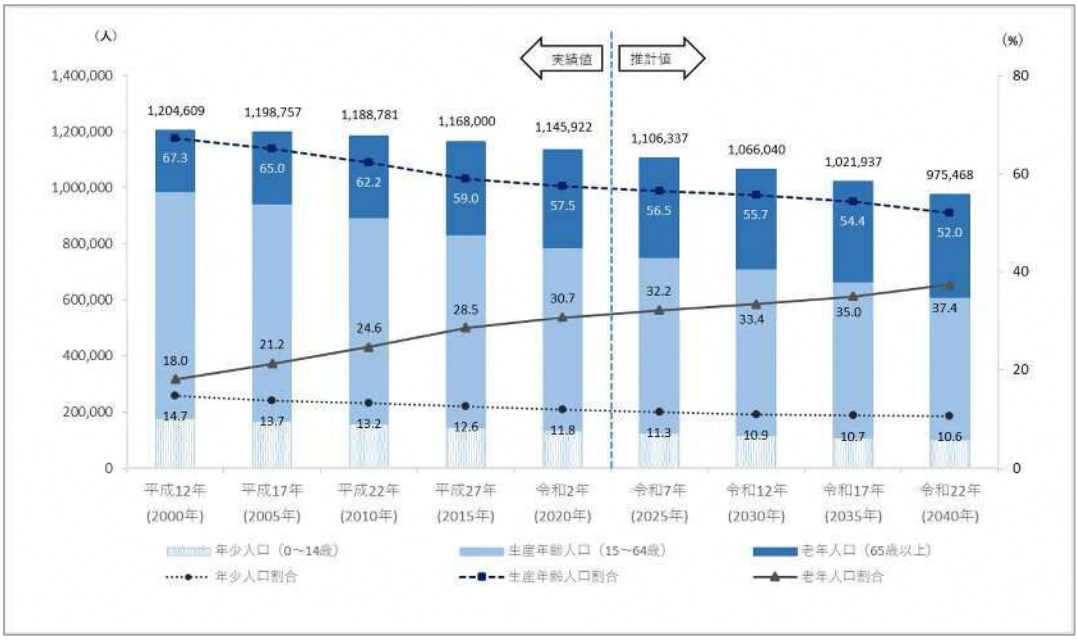
澄んだ空気、目に鮮やかな新緑、野鳥のさえずり、そして紅葉、手に届きそうな星の輝き。素朴で豊かな自然に囲まれた川根本町。大井川上流部に位置し、町域の 90%以上が森林の山あいの町です。

四季折々の美しい景観の中に「美女づくりの湯」と呼ばれる寸又峡温泉、「若返りの湯」と呼ばれる接岨峡温泉などが点在しています。日本唯一のアプト式鉄道を有する南アルプスあぷとライン、SL が毎日走る大井川鐵道、徳山のしだれ桜、南赤石林道周辺のアカヤシオ・シロヤシオなど観光資源に恵まれる一方、大井川を挟むように茶園が広がる、銘茶「川根茶」のふるさとでもあります。私たちの地域は、自然とともに生きる暮らし、長い歴史の中で守り受け継がれてきた住民の知恵や技を大切にし、お互いに助け合い、支えあって暮らしています。

伝統を継承する祭り、自然に親しむイベントが盛りだくさん、そして地元の人たちの温かさも魅力の「川根本町」です。

南アルプス麓の観光名所「夢の吊橋」 ▲

２　圏域人口の推移と将来推計



平成 12 年（2000 年）以降の圏域人口の推移を見ると、減少が続き、令和２年（2020 年）の国勢調査における圏域人口は、1,145,922 人であり、20 年間で約 60,000 人減少しています。

今後も、圏域人口の減少が継続することが予想され、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）」によれば、令和 22 年（2040 年）には 1,000,000 人を下回り、975,468 人となることが見込まれています。

また、年齢３区分別に人口割合を見ると、平成 12 年（2000 年）以降、年少人口（０歳～14 歳）及び生産年齢人口（15 歳～64 歳）の割合が減少する一方、老年人口（65 歳以上）の割合が増加し、同研究所の推計によれば、2040 年には、年少人口（０歳～14 歳）が 10.6%、生産年齢人口（15 歳～64 歳）が 52.0%、老年人口（65 歳以上）が 37.4%となることが見込まれています。

３　構成自治体から静岡市への通勤・通学の状況

市町名	通勤者数・通学者数（15 歳以上）			静岡市への通勤者数・通学者数（15 歳以上）			静岡市への通勤・通学割合
	通勤者	通学者	合計	通勤者	通学者	合計	
島田市	43,826 人	3,838 人	47,664 人	3,145 人	685 人	3,830 人	0.080
焼津市	63,893 人	5,639 人	69,532 人	9,208 人	1,477 人	10,685 人	0.154
藤枝市	64,589 人	6,095 人	70,684 人	9,531 人	1,367 人	10,898 人	0.154
牧之原市	19,594 人	1,570 人	21,164 人	499 人	193 人	692 人	0.033
吉田町	14,226 人	1,072 人	15,298 人	545 人	168 人	713 人	0.047
川根本町	2,559 人	183 人	2,742 人	61 人	10 人	71 人	0.026
合　計	208,687 人	18,397 人	227,084 人	22,989 人	3,900 人	26,889 人	0.118

【出典】令和２年国勢調査（総務省）

しずおか中部連携中枢都市圏を構成する各市町から静岡市への通勤・通学の状況を見ると、通勤・通学割合が高い順に、焼津市及び藤枝市（0.154）、島田市（0.080）、吉田町（0.047）、牧之原市（0.033）、川根本町（0.026）となっており、４市２町から静岡市への通勤者・通学者の合計は、約 27,000 人にのぼります。

４　事業所数・就業者数・産業別就業者数の状況

（１）事業所数

市町名	令和３（2021）年	【参考】平成 28（2019）年	増減（R3-H28）
静岡市	33,514 事業所	35,194 事業所	-1,680 事業所
島田市	4,134 事業所	4,346 事業所	-212 事業所
焼津市	6,007 事業所	6,328 事業所	-321 事業所
藤枝市	5,478 事業所	5,980 事業所	-502 事業所
牧之原市	2,253 事業所	2,456 事業所	-203 事業所
吉田町	1,231 事業所	1,253 事業所	-22 事業所
川根本町	435 事業所	454 事業所	-19 事業所
合　計	53,052 事業所	56,011 事業所	-2,959 事業所

【出典】令和３年経済センサス活動調査（総務省、経済産業省）

事業所数の状況を見ると、平成 28 年（2019 年）から令和３年（2021 年）にかけて、全ての市町において減少の傾向にあり、減少数の多い順に、静岡市（-1,680 事業所）、藤枝市（-502 事業所）、焼津市（-321 事業所）の順で、５市２町の合計では、2,959 事業所減少しています。

（２）従業者数

市町名	令和３（2021）年	【参考】平成 28（2019）年	増減（R3-H28）
静岡市	346,576 人	340,623 人	5,953 人
島田市	37,608 人	37,944 人	-336 人
焼津市	60,261 人	59,096 人	1,165 人
藤枝市	55,789 人	54,887 人	902 人
牧之原市	26,973 人	25,547 人	1,426 人
吉田町	17,056 人	16,174 人	882 人
川根本町	2,873 人	3,023 人	-150 人
合　計	547,136 人	537,294 人	9,842 人

【出典】令和３年経済センサス活動調査（総務省、経済産業省）

従業者数の状況を見ると、平成 28 年（2019 年）から令和３年（2021 年）にかけて、多くの市町において増加傾向にあり、増加数が多い順に、静岡市（5,953 人）、牧之原市（1,426 人）、焼津市（1,165 人）の順で、５市２町の合計では、9,842 人増加しています。

（３）産業別就業者数

市町名	第１次産業		第２次産業		第３次産業	
	就業者	割合	就業者	割合	就業者	割合
静岡市	7,822 人	2.3%	85,079 人	25.4%	242,189 人	72.3%
島田市	2,758 人	5.6%	18,205 人	36.9%	28,418 人	57.5%
焼津市	1,917 人	2.8%	24,926 人	36.4%	41,646 人	60.8%
藤枝市	2,293 人	3.3%	22,383 人	32.0%	45,277 人	64.7%
牧之原市	2,642 人	11.2%	9,822 人	41.6%	11,121 人	47.2%
吉田町	499 人	3.3%	7,422 人	48.4%	7,407 人	48.3%
川根本町	388 人	12.0%	986 人	30.5%	1,857 人	57.5%
合　計	18,319 人	3.2%	168,823 人	29.9%	377,915 人	66.9%

【出典】令和２年国勢調査（総務省）

就業者数を産業別に見ると、多くの市町において、第３次産業、第２次産業、第１次産業の順に多く、５市２町の合計では、第３次産業（66.9%）、第２次産業（29.9%）、第１次産業（3.2%）となっています。

また、５市２町の中で、第１次産業の就業割合が最も高いのは川根本町（12.0%）、第２次産業の就業割合が最も高いのは吉田町（48.4%）、第３次産業の就業割合が最も高いのは静岡市（72.3%）となっています。

５　都市機能の集積・利用状況等

（１）医療

① 一般病院数、診療所数、病院病床数

市町名	一般病院数	一般診療所数	歯科診療所数	病院病床数
静岡市	22	568	352	7,237
島田市	1	66	40	536
焼津市	4	81	55	1,405
藤枝市	4	106	57	1,281
牧之原市	1	32	16	450
吉田町	1	17	9	180
川根本町	0	11	4	0
合　計	33	881	533	11,089

【出典】令和４年医療施設調査（厚生労働省）

② 主な医療施設

分　類		医療施設名　　※【　】内は所在地
三次救急医療機関		【静岡市】静岡県立総合病院、静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院 【藤枝市】藤枝市立総合病院
二次救急医療機関		【静岡市】静岡市立清水病院、ＪＡ静岡厚生連清水厚生病院、 独立行政法人地域医療機能推進機構桜ヶ丘病院、 静岡県立こども病院、静岡県立総合病院、静岡市立静岡病院、 静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院、 JA 静岡厚生連静岡厚生病院 【島田市】島田市立総合医療センター 【焼津市】焼津市立総合病院、コミュニティホスピタル甲賀病院 【藤枝市】藤枝市立総合病院 【牧之原市】榛原総合病院、
休日・夜間急病センター		【静岡市】静岡市急病センター 【島田市】島田市休日急患診療所 【藤枝市】志太・榛原地域救急医療センター
周産期 母子医療センター	総合	【静岡市】静岡県立こども病院
	地域	【静岡市】静岡済生会総合病院、静岡市立静岡病院 【焼津市】焼津市立総合病院 【藤枝市】藤枝市立総合病院
災害拠点病院		【静岡市】静岡県立総合病院、静岡市立静岡病院、静岡市立清水病院、 静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院 【島田市】島田市立総合医療センター 【焼津市】焼津市立総合病院 【藤枝市】藤枝市立総合病院

【出典】第８次静岡県保健医療計画（静岡県）

③ 一般・療養病床の患者流出率・流入率

医療圏※1	人 口※2	流出率		流入率	
		H29.5.31 調査	H26.5.28 調査	H29.5.31 調査	H26.5.28 調査
静岡	701,803 人	8.4%	8.8%	15.8%	16.1%
志太榛原	460,970 人	18.4%	19.2%	5.3%	6.2%

【出典】第８次静岡県保健医療計画（静岡県）

※１ 医療圏「静岡」の構成市は静岡市、「志太榛原」の構成市は島田市、焼津市、藤枝市、吉田町及び川根本町
※２ 人口は、平成 28 年（2016 年）10 月 1 日時点の推計人口

（２）教育・文化

① 主な大学院、大学、短期大学

分 類	学校名 ※【 】内は所在地	学部・学科
大学院	【静岡市】静岡大学大学院	人文社会科学部研究科、教育学研究科、総合科学技術研究科、山岳流域研究院
	【静岡市】静岡県立大学大学院	薬学研究院、薬食生命科学総合学府、食品栄養環境科学研究院、国際関係学研究科、経営情報ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ研究科、看護学研究科
	【静岡市】静岡社会健康医学大学院大学	社会健康医学研究科
	【静岡市】東海大学大学院	海洋学研究科
	【静岡市】常葉大学大学院	国際言語文化研究科、初等教育高度実践研究科、環境防災研究科
大学	【静岡市】静岡大学	人文社会科学部、教育学部、理学部、農学部、グローバル共創科学部
	【静岡市】静岡県立大学	薬学部、食品栄養科学部、国際関係学部、経営情報学部、看護学部
	【静岡市】東海大学	海洋学部、人文学部
	【静岡市】常葉大学	教育学部、外国語学部、造形学部、法学部、健康科学部、経営学部、社会環境学部、保育学部
	【静岡市】静岡英和学院大学	人間社会学部
	【焼津市】静岡福祉大学	社会福祉学部、子ども学部
	【藤枝市】静岡産業大学	経営学部
短期大学	【静岡市】静岡県立大学短期大学部	歯科衛生学科、社会福祉学科、こども学科
	【静岡市】静岡英和学院大学短期大学部	現代コミュニケーション学科、食物栄養学科
	【静岡市】常葉大学短期大学部	日本語日本文学科、保育科、音楽科

【出典】令和５年度静岡県学校名簿（静岡県）

② 高等学校進路別卒業者数（全日制・定時制）

（人）　（%）

市町名	大学等進学者	専修学校（専門課程）進学者	専修学校（一般課程）等入学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	左記以外の者	合計	大学等進学率	就職率
静岡市	3,975	757	467	26	785	232	6,269	63.4	12.7
島田市	296	191	－	3	293	19	802	36.9	36.5
焼津市	410	163	1	3	177	13	767	53.5	23.1
藤枝市	821	177	7	6	238	41	1,291	63.6	18.5
牧之原市	192	44	2	－	55	13	306	62.7	18.3
吉田町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
川根本町	15	10	－	－	11	1	38	39.5	31.6
合　計	5,709	1,342	477	38	1,559	319	9,473	60.3	16.6

【出典】令和５年度静岡県学校基本統計（静岡県）

③ 主な文化施設と利用状況

所在地	施設名	利用者数又は利用件数（令和３（2021）年度）
静岡市	静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」	30,517 人
	静岡県舞台芸術公園	13,557 人
	静岡市市民文化会館	234,948 人
	静岡市清水文化会館マリナート	181,116 人
島田市	島田市民総合施設プラザ「おおるり」	4,465 件
	島田市金谷生きがいセンター	2,855 件
	島田市川根文化センターチャリム２１	721 件
焼津市	焼津市焼津文化会館	104,531 人
	焼津市大井川文化会館	30,711 人
藤枝市	藤枝市民会館	39,186 人
	藤枝市民ホールおかべ	9,195 人
牧之原市	牧之原市相良総合センター「い～ら」	27,264 人
吉田町	吉田町学習ホール	5,677 人
川根本町	川根本町文化会館	21,247 人

※ 掲載施設は、公益財団法人全国公立文化施設協会ホームページに掲載のある施設

【出典】令和３年度公益財団法人静岡県文化財団事業報告書（公益財団法人静岡県文化財団）、令和３年度事業報告書（公益財団法人静岡県舞台芸術センター）、第 20 回静岡市統計書（静岡市）、島田市統計書（令和４年度版）（島田市）、令和４年度版統計やいづ（焼津市）、令和３年度事業報告（藤枝市）、令和３年度市政報告（藤枝市）令和３年度利用実績（牧之原市）、吉田町統計要覧令和４年版（吉田町）、川根本町統計要覧令和３年版（川根本町）

④ 主な博物館等と利用状況

所在地	施設名	入館者数（令和３（2020）年度）
静岡市	静岡県立美術館	45,109 人
	静岡市東海道広重美術館	13,484 人
	静岡市登呂博物館	118,132 人
	静岡市立芹沢銈介美術館	28,013 人
	静岡市美術館	77,160 人
	静岡市立日本平動物園	420,937 人
	静岡市科学館る・く・る	110,813 人
	静岡市文化財資料館	3,749 人
	駿府博物館	3,073 人
島田市	島田市博物館・分館	27,174 人
藤枝市	藤枝市郷土博物館・文学館	73,822 人
牧之原市	牧之原市史料館	2,463 人

※ 掲載施設は、静岡県博物館協会ホームページに掲載のある施設

【出典】静岡県立美術館年報令和３年度（静岡県立美術館）、第 20 回静岡市統計書（静岡市）、令和３年度事業報告（公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）、島田市統計書（令和４年度版）（島田市）、令和３年度市政報告（藤枝市）、令和３年度利用実績（牧之原市）

⑤ 図書館と利用状況等

所在地	図書館名	所蔵資料数（図書）	登録者数（累計）	個人貸出冊数（総数）
静岡市	静岡県立中央図書館	924,278 冊	85,108 人	114,253 冊
	静岡市立中央図書館	459,313 冊	23,064 人	765,813 冊
	静岡市立中央図書館麻機分館	63,317 冊	1,942 人	80,673 冊
	静岡市立中央図書館美和分館	64,231 冊	1,098 人	64,686 冊
	静岡市立御幸町図書館	155,010 冊	17,987 人	342,644 冊
	静岡市立藁科図書館	90,537 冊	4,378 人	114,762 冊
	静岡市立南部図書館	210,700 冊	23,845 人	781,640 冊
	静岡市立西奈図書館	175,910 冊	9,600 人	332,240 冊
	静岡市立長田図書館	174,522 冊	11,106 人	337,701 冊
	静岡市立北部図書館	121,009 冊	7,899 人	232,054 冊
	静岡市立清水中央図書館	491,292 冊	20,744 人	555,767 冊
	静岡市立清水興津図書館	116,321 冊	5,828 人	170,467 冊
	静岡市立蒲原図書館	104,822 冊	3,114 人	84,945 冊

所在地	図書館名	所蔵資料数（図書）	登録者数（累計）	個人貸出冊数（総数）
焼津市	焼津市立焼津図書館	239, 833 冊	58, 847 人	428, 417 冊
	焼津市立大井川図書館	137, 647 冊	＊	156, 275 冊
藤枝市	藤枝市立駅南図書館	406, 502 冊	138, 062 人	540, 806 冊
	藤枝市立岡出山図書館	144, 524 冊	＊	207, 300 冊
	藤枝市立岡部図書館	61, 318 冊	＊	75, 017 冊
島田市	島田市立島田図書館	285, 580 冊	66, 479 人	363, 068 冊
	島田市立金谷図書館	109, 571 冊	＊	105, 561 冊
	島田市立川根図書館	46, 032 冊	＊	23, 284 冊
牧之原市	牧之原市立図書交流館	57, 337 冊	6, 928 人	71, 569 冊
	牧之原市立榛原図書館	30, 262 冊	＊	26, 016 冊
吉田町	吉田町立図書館	131, 980 冊	41, 500 人	145, 215 冊
川根本町	川根本町文化会館図書室	24, 321 冊	673 人	5, 054 冊

*印は、分館において、本館の数値に含まれているもの

【出典】令和４年度静岡県の図書館（静岡県立中央図書館）

６　観光交流の状況等

（１）市町別観光交流客数

市町名	観光交流客数 ※				
	R1 (2019) 年度	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度	R4 (2022) 年度	前年度比 (R4/R3)
静岡市	23, 631, 790 人	10, 856, 718 人	13, 769, 137 人	19, 657, 581 人	142. 8%
島田市	1, 966, 063 人	1, 510, 933 人	1, 930, 058 人	2, 554, 345 人	132. 3%
焼津市	3, 806, 293 人	1, 380, 561 人	1, 750, 968 人	2, 552, 016 人	145. 7%
藤枝市	2, 527, 793 人	1, 071, 664 人	1, 237, 389 人	1, 640, 626 人	132. 6%
牧之原市	2, 216, 352 人	731, 396 人	1, 021, 081 人	1, 335, 545 人	130. 8%
吉田町	286, 094 人	144, 909 人	168, 297 人	197, 774 人	117. 5%
川根本町	293, 565 人	192, 640 人	185, 212 人	168, 494 人	91. 0%
合　計	34, 727, 950	15, 888, 821 人	20, 062, 142 人	28, 106, 381 人	127. 5%

※ 観光交流客数は、宿泊者数と観光レクリエーション客数の合計

【出典】令和４年度静岡県の観光交流の動向（静岡県）

（２）観光資源（観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等）

所在地	カテゴリ	名称
静岡市	観光・商業施設	清水港・エスパルスドリームプラザ、河岸の市、日本平動物園、日本平夢テラス、天空の茶の間
	自然	三保松原、南アルプス、日本平、オクシズ、茶畑の景観
	歴史文化	駿府城、久能山東照宮、登呂遺跡、伝統工芸・ホビー、東海道２峠６宿
	食	お茶、マグロ、桜えび、シラス、静岡おでん、茶氷、清水もつカレー、とろろ汁
	イベント	大道芸ワールドカップ、静岡まつり、清水みなと祭り、静岡マラソン
島田市	観光・商業施設	ふじのくに茶の都ミュージアム、KADODE　OOIGAWA、里山の茶の間、SL
	温泉	田代の郷温泉、川根温泉（ふれあいの泉）、川根温泉ホテル
	自然	茶畑の景観
	歴史文化	蓬莱橋、金谷坂の石畳、大井川川越遺跡
	スポーツ	大井川マラソン、スポーツ合宿地
	食	お茶、茶氷
	イベント	島田大祭、島田髷まつり、金谷茶まつり
焼津市	観光・商業施設	焼津さかなセンター、焼津温泉、アクアスやいづ、うみえーる焼津、ディスカバリーパーク焼津、ターントクルこども館
	自然	高草山、浜当目海水浴場
	歴史文化	魚河岸シャツ、荒祭り、藤守の田遊び、花沢の里
	食	カツオ、マグロ、サバ、桜えび、シラス、鰹節、みそまん、アメーラトマト
	イベント	焼津みなとまつり、踊夏祭、大井川港朝市、魚（とと）フェス、焼津ぐるめぐり
藤枝市	観光・商業施設	玉露の里、瀬戸谷温泉ゆらく、大久保キャンプ場・グラススキー場、
	自然	蓮華寺池公園、桜・藤・コスモスなどの花、茶畑の景観
	歴史文化	藤枝大祭り、朝比奈大龍勢、大旅籠柏屋歴史資料館、田中城下屋敷
	食	地酒、朝ラーメン、藤枝茶、スイーツ
	イベント	藤枝おんぱく、桜・藤まつり、全国 PK 選手権大会 in Fujieda
牧之原市	観光・商業施設	グリンピア牧之原、子生れ温泉、相良シーサイドパーク、大地の茶の間、静波サーフスタジアム、相良油田
	自然	静波海岸、相良サンビーチ、牧之原台地（茶園）、秋葉公園（あじさい）、茶畑の景観
	歴史文化	田沼意次ゆかりの史跡、塩の道
	食	牧之原茶、メロン、イチゴ、シラス、自然薯
	イベント	さがら草競馬大会、ゴーセンカップ、ビーチクリーンカップ、ライフセービング選手権大会

所在地	カテゴリ	名称
吉田町	観光・商業施設	展望台小山城
	自然	能満寺山公園、吉田公園
	歴史文化	小山城、八幡津島（川尻）神社、住吉神社
	食	うなぎ、シラス、レタス
	イベント	小山城まつり、チューリップまつり、凧揚げ祭り
川根本町	観光・商業施設	音戯の郷、茶茗舘、大井川鐵道（ＳＬ、アプト式）、キャンプ場、夢の吊り橋、奥大井湖上駅
	温泉	寸又峡温泉、接岨峡温泉、白沢温泉、千頭温泉
	自然	寸又峡紅葉、南アルプス、茶畑の景観
	食	川根茶
	イベント	ＳＬフェスタ、きかんしゃトーマス号、寸又峡和紙のあかり展、奥大井ふるさと祭り

【出典】観光地域づくり法人形成･確立計画（公益財団法人するが企画観光局）ほか

第３章　第１期計画期間における目標値の達成状況等

１　第１期計画期間における目標値の達成状況

区分			成果指標（KPI）	基準値		目標値 R3(ビジョン最終)年度	実績値 R3(ビジョン最終)年度	達成状況
人口目標	人口目標		圏域人口（国勢調査）	1,168,000人 H27(2015)年度	➡	1,150,000人 R7(2025)年度	1,145,922人 R2(2020)年度	未達成
基本目標	圏域全体の経済成長のけん引		観光交流客数	3,659万人 H27(2015)年度	➡	4,236万人	2,006万人	未達成
基本目標	高次の都市機能の集積・強化		中心市街地歩行者通行量	131,545人 H26(2014)年度	➡	131,545人	113,719人	未達成
基本目標	圏域全体の生活関連機能サービスの向上		圏域人口社会動態	▲2,118人 H26(2014)年度	➡	1,325人	▲1,281人	未達成
重要業績評価指標	経済成長のけん引	経済戦略の策定・体制整備	ビジョン懇談会開催回数	2回 H28(2016)年度	➡	2回	1回	未達成
重要業績評価指標	経済成長のけん引	戦略産業の育成	創業相談件数	232件 H27-29年度平均	➡	300件	300件	達　成
重要業績評価指標	経済成長のけん引	地域経済の裾野拡大	海外展開支援事業商談成約件数	7件 H27(2015)年度	➡	12件	13件	達　成
重要業績評価指標	経済成長のけん引	戦略的な観光施策	大井川ニューツーリズムイベント参加者数	130,056人 H27(2015)年度	➡	140,000人	44,670人	未達成
重要業績評価指標	高次都市機能の集積・強化	高度な医療サービスの提供	第１種感染症指定医療機関数	1施設 H28(2016)年度	➡	1施設	1施設	達　成
重要業績評価指標	高次都市機能の集積・強化	中心拠点の整備・公共交通網の構築	JR静岡駅乗降客数	2,114万人 H26(2014)年度	➡	2,300万人	1,554万人	未達成
重要業績評価指標	生活関連サービスの向上 生活機能の強化	介護・福祉・結婚・子育て支援分野	婚活支援イベントカップル成立率	31.3% H27(2015)年度	➡	34.8%	44.7%	達　成
重要業績評価指標	生活関連サービスの向上 生活機能の強化	教育・文化・スポーツ分野	サイエンスキッズ育成イベント参加者数	0人 H28(2016)年度	➡	1,750人	2,570人	達　成
重要業績評価指標	生活関連サービスの向上 生活機能の強化	教育・文化・スポーツ分野	大学連携事業課題解決研究件数	22件 H28(2016)年度	➡	35件	20件	未達成
重要業績評価指標	生活関連サービスの向上 生活機能の強化	環境分野	COOL CHOICE賛同者数	120人 H30(2018)年度	➡	40人	0 人	未達成
重要業績評価指標	生活関連サービスの向上 結びつき等の強化	地域交通インフラ分野	パス停上屋等整備箇所数	3か所 H29(2017)年度	➡	3か所	3か所	達　成
重要業績評価指標	生活関連サービスの向上 結びつき等の強化	住民交流・移住促進分野	移住相談組数	48組 H28(2016)年度	➡	117組	50組	未達成
重要業績評価指標	生活関連サービスの向上 結びつき等の強化	住民交流・移住促進分野	自営型テレワークeラーニング受講者数	0人 H30(2018)年度	➡	1,000人 R1-R3合計	671人 R1-R3合計	未達成
重要業績評価指標	生活関連サービスの向上 マネジメント強化	自治体職員の育成	合同職員研修開催回数	1回 H28(2016)年度	➡	2回	1 回	未達成
重要業績評価指標	生活関連サービスの向上 マネジメント強化	自治体職員の育成	人事交流人数	4人 H30(2018)年度	➡	8人	8人	達　成

第１期計画期間（平成 29 年度（2017 年度）から令和３年度（2021 年度））においては、「人口目標」及び「基本目標」については、いずれも未達成となりました。

また、「重要業績評価指標」については、目標値を達成した指標もありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、多くの指標において、未達成となりました。

２　住民アンケートの結果

（１）アンケートの実施概要

① 目的

「第１期 しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」の取組に対する住民の皆さまの認知度や評価を把握するとともに、「第２期しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」の策定にあたり、その基礎資料とするため、住民の皆さまの生活の状況や考えを把握することを目的に実施しました。

② 対象・方法

静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町及び川根本町に在住の 16 歳以上の 7,000 人※1 に、アンケートを郵送させていただきました。

③ 期間

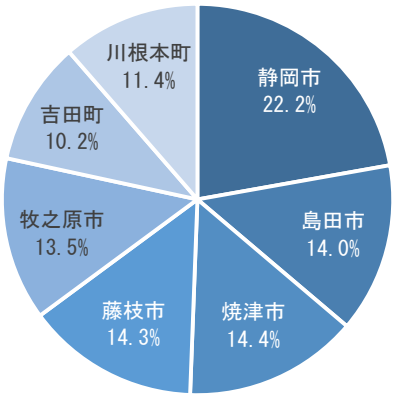
令和３年（2020 年）６月４日（金）から６月 30 日（水）まで

④ 回収状況

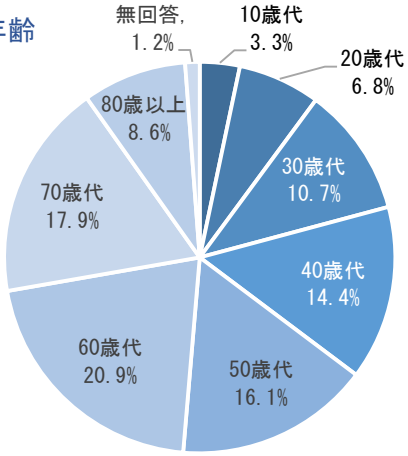
	配布数	有効回収数※2	有効回収率
合　計	7,000 票	3,672 票	52.5%

※１ 静岡市：1,600 票、島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市：各 1,000 票、吉田町川根本町：700 票
※２ 回収数から白票などの無効票を除いた数

■居住地



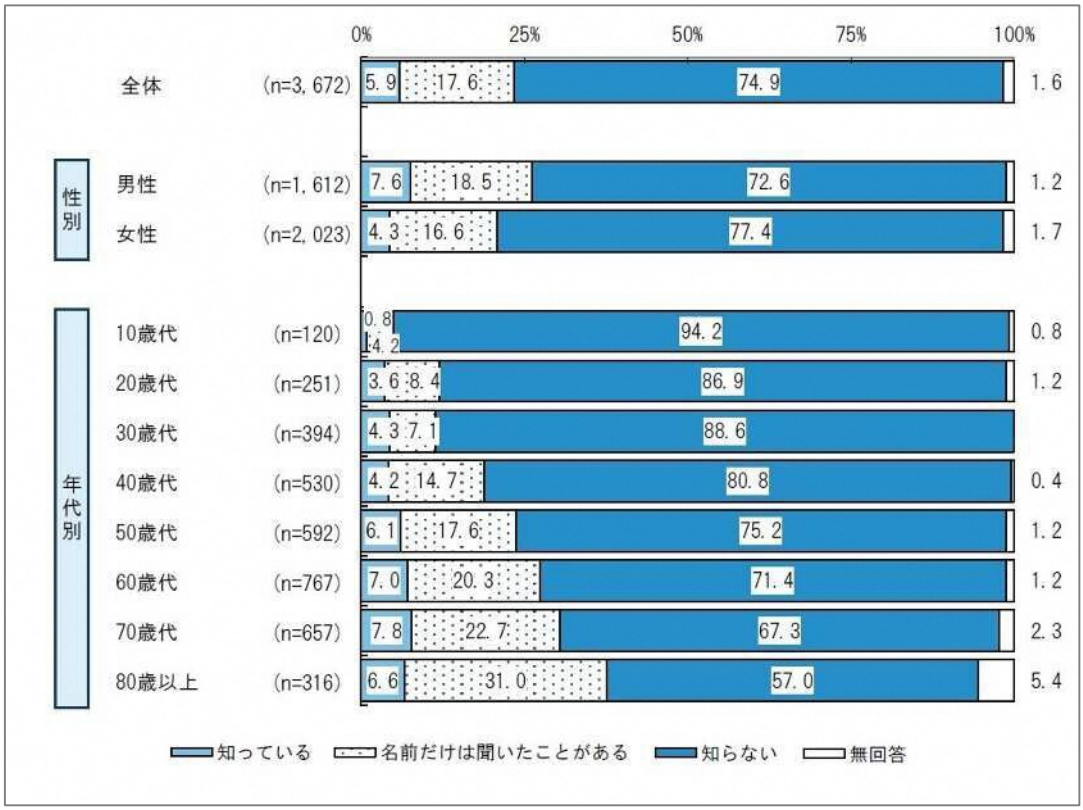
■年齢



（２）アンケートの結果（抜粋）

①「しずおか中部連携中枢都市圏」の認知度

質問　県中部地域の５市２町で、「しずおか中部連携中枢都市圏」を形成し、様々な連携事業を実施していることを知っていますか。



しずおか中部連携中枢都市圏の認知度は、全体で、「知っている」が 5.9%、「名前だけは聞いたことがある」が 17.6%、「知らない」が 74.9%でした。

年代別に見ると、年代が高いほど、「知っている」及び「名前だけは聞いたことがある」の割合が高く、年代が低いほど、「知らない」の割合が高くなっています。

② 第１期しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン登載主要事業に対する認知度と評価

質問　次の事業を知っていますか。また、連携事業として実施することに対する評価をお願いします。

事業名	認知度		評価				
	知っている	知らない	非常によい	よい	ふつう	あまりよくない	よくない
圏域経済拡大支援事業	16.4%	78.6%	16.3%	29.7%	15.8%	1.8%	0.7%
中小企業海外展開支援事業	6.8%	87.7%	12.7%	27.1%	18.1%	1.9%	1.0%
水産物を活用した産業活性化事業	8.2%	86.4%	15.6%	27.3%	16.3%	1.9%	0.8%
静岡地域連携 DMO 推進事業	13.1%	81.2%	13.8%	27.6%	17.8%	1.7%	0.6%
インバウンド促進事業	26.7%	67.3%	15.3%	27.3%	19.1%	3.2%	1.0%
大井川流域ニューツーリズム推進事業	41.6%	52.9%	24.2%	32.5%	13.3%	1.1%	0.4%
街道文化発信事業	19.1%	75.0%	14.5%	29.4%	18.9%	1.7%	0.5%
食文化・自然等を活用した街道観光 PR 事業	8.7%	85.0%	12.0%	25.3%	20.4%	2.3%	0.8%
静岡中部地域サイクルツーリズム推進事業	14.5%	79.5%	12.1%	25.6%	21.7%	2.6%	0.8%
大学連携事業	9.8%	84.3%	13.0%	25.2%	20.6%	1.7%	0.7%
出会い・結婚サポート事業	20.5%	73.9%	13.9%	25.8%	21.5%	2.5%	1.2%
子育て支援事業	34.5%	59.5%	24.8%	29.5%	14.2%	0.8%	0.4%
サイエンスキッズ育成事業	19.3%	74.4%	20.8%	27.5%	14.5%	1.0%	0.5%
IT キッズキャンプ事業	7.4%	86.4%	18.3%	25.6%	15.1%	1.6%	0.5%
JR 駅前等賑わい創出事業	36.9%	57.4%	17.6%	29.7%	19.2%	3.2%	1.1%
中部５市２町 PR 事業	13.9%	80.1%	10.6%	25.3%	23.4%	2.8%	1.0%
都市間交通の利便性向上事業	8.9%	85.2%	17.0%	25.5%	17.2%	1.6%	0.6%
公衆無線 LAN 整備事業	14.7%	80.0%	23.5%	24.4%	13.8%	1.6%	0.7%
移住促進事業	22.3%	72.4%	17.8%	28.3%	18.1%	1.6%	0.7%
テレワーク推進事業	12.9%	81.4%	12.7%	25.8%	21.5%	2.1%	0.9%
中部５市２町イベントニュース発行事業	19.4%	74.7%	13.4%	26.6%	22.1%	2.1%	0.8%
UIJ ターン就職促進事業	14.5%	79.9%	20.4%	25.9%	16.1%	1.2%	0.4%

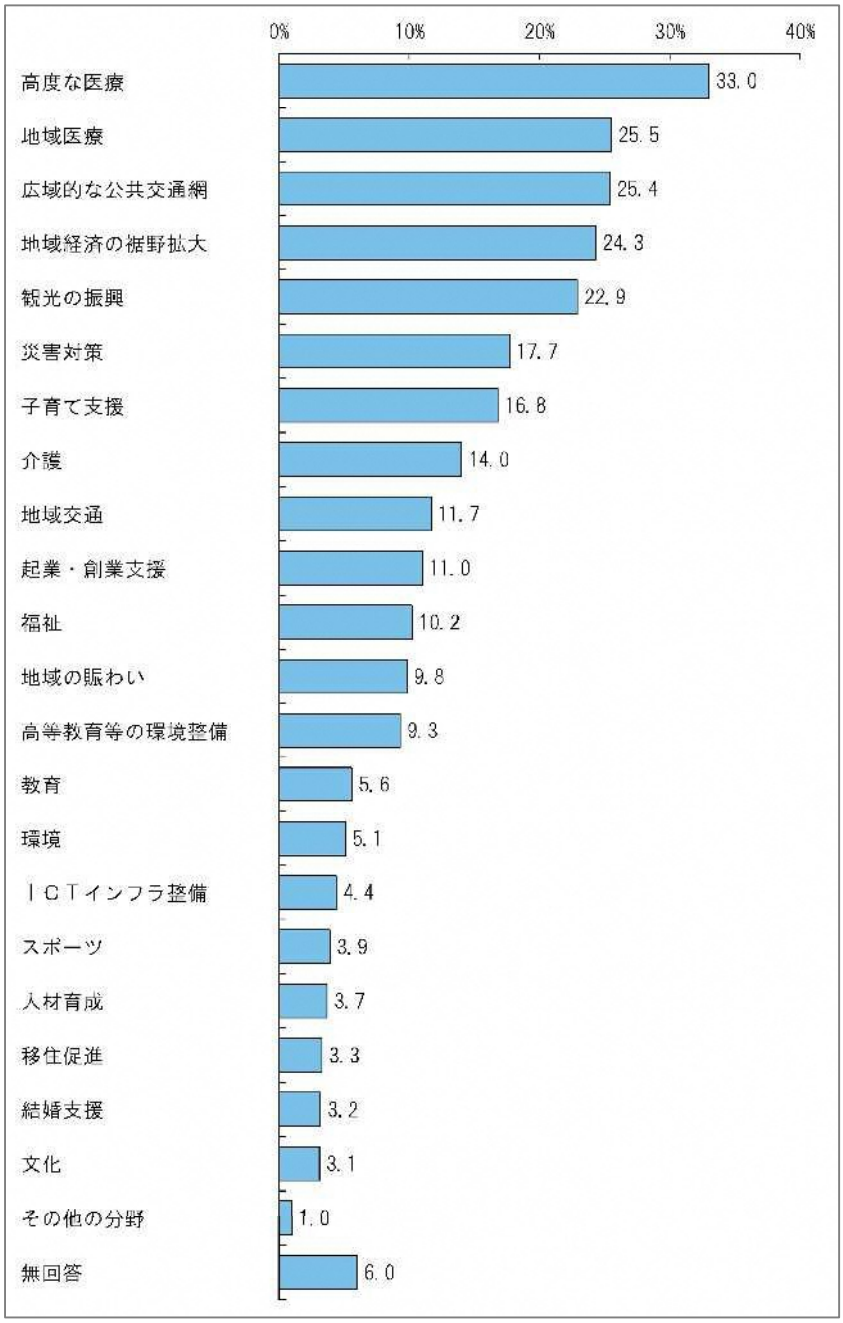
主要事業に対する認知度としては、「大井川流域ニューツーリズム推進事業」(41.6%)が最も高く、以下、「JR 駅前等賑わい創出事業」(36.9%)、「子育て支援事業」(34.5%)、「インバウンド促進事業」(26.7%) 等が高い結果となりました。

また、連携事業として実施することに対する評価としては、いずれの事業についても、概ね良い評価をいただいています。

③ 連携した取組を期待する分野

質問　市町の垣根を越えて、連携して取り組んでほしい分野はありますか。

（複数回答可）



連携した取組を期待する分野としては、「高度な医療」（33.0%）が最も高く、以下、「地域医療」(25.5%)、「広域的な公共交通網」(25.4%)、「地域経済の裾野拡大」(24.3%)、「観光の振興」（22.9%）等が高い結果となりました。

３　第１期計画期間における取組のまとめ

平成 29 年３月に静岡県中部５市２町により、「しずおか中部連携中枢都市圏」を形成して迎えた、第１期計画期間（平成 29 年度（2017 年度）から令和３年度（2021 年度））においては、「海・山・街道を活かした多極連携・交流都市圏」を圏域が目指す将来像に掲げ、各市町が主体となり、それぞれの地域資源を活かしながら、圏域人口 115 万人維持の達成（2025 年）に向けて、様々な取組を展開してきました。

そのような中、令和２年（2020 年）国勢調査における圏域人口は 1,145,922 人であり、目標値の基準時点である 2025 年を前に、目標値を下回る結果となりました。

この結果については、人口減少・少子高齢化といった社会情勢に歯止めがかからない状況が継続する中、当初の目標設定が高いものであったと考えられます。

人口活力の維持においては、交流人口や関係人口といった視点もありますが、定住人口の推移は、引き続き把握していく必要があります。

また、取組の柱ごとに設定した「基本目標」及び「重要業績評価指標」についても、達成状況は非常に厳しい結果となりました。

この結果については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの事業が当初の予定どおりに実施することができなかったことが、大きく影響したものであると考えられます。

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が、今後も継続することが予測される中、生活様式の変化や、デジタル革命の本格化などといった社会変容に対応しながら、事業内容を検討し、実施していく必要があると考えられます。

第２期計画期間を迎えるにあたり実施した住民アンケートでは、主要事業のいずれについても、連携事業として実施することに対して、概ね良い評価を得ることができた一方で、「しずおか中部連携中枢都市圏」に対する認知度が低いことが明らかとなりました。

主要事業ごとの認知度においては、特色のある地域資源を活用した事業に対する認知度が高い傾向にあったことから、「しずおか中部連携中枢都市圏」の認知度の向上のためには、今後も各市町の特色のある地域資源を活用しながら事業を展開するとともに、そうした中で、５市２町が圏域の一体的な発展を目指して取り組んでいることを周知していくことが必要であり、住民の皆さまに取組の趣旨をご理解いただくことが、圏域としての一体感の醸成につながるものと考えられます。

また、連携した取組を期待する分野では、高度医療・地域医療をはじめ、住民の皆さまの生活により近い分野の取組に対する期待が高い結果となりました。第１期計画期間においても、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」を取組の柱の１つに掲げて、事業を展開

してきましたが、今後も、住民の皆さまの生活の利便性の向上等につながる取組をさらに充実させることの検討も、必要であると考えらます。

今後も、人口減少・少子高齢化の進展や、都市への人口集中など、地方自治体を取り巻く環境は、厳しい状況が続くことが予測されますが、第１期計画期間における取組の成果や課題を、今後の取組に活かしていくことが重要であると考えられます。

第１期計画期間（平成 29 年度（2017 年度）から令和３年度（2021 年度））における主な取組

▲ 首都圏におけるテストマーケティング

▲ 水産物のプロモーション

▲ お茶等を活用した観光プロモーション

▲ 日本橋における街道観光プロモーション

▲ 地域資源を活用したイベント

▲ 大学と連携した地域課題解決のための研究

▲ 出会い・結婚の支援

▲ 科学をテーマとしたイベント

▲ バス利用環境の整備支援

▲ イルミネーション等による賑わい創出

▲ 各市町のイベント情報の発信

▲ 首都圏における移住フェアへの出展

第４章　圏域が目指す将来像と人口目標

１　圏域が目指す将来像

海・山・街道を活かした多極連携・交流都市圏

～日本の中心！住みたいまち　訪れたいまち　活力あふれる豊かな圏域を目指して～

静岡県中部に位置する５市２町は、南アルプスの山々、大井川、駿河湾などの豊かな自然環境や、お茶や海産物など、高いブランド価値を誇る特産物、東海道、田沼街道などに根付く歴史文化に恵まれています。また、東海道新幹線、東名・新東名高速道路といった陸上の交通網に加えて、空の玄関口である富士山静岡空港や、世界に開かれた貿易港である清水港などを擁し、圏域内外の交流が活発に行われています。こうした恵まれた環境の下、各市町が連携・協力することは、それぞれが持つ力の総和以上の総合力の発揮へとつながると考えられます。

また、各市町は、それぞれ異なる個性を有するとともに、自立した自治体経営を行っています。そうした多様性を活かすとともに、相互に補完し、高め合いながら、それぞれの市町が主役となって、多極的に連携事業に取り組むことにより、活力のある圏域を目指すことが重要であるとの認識のもと、第１期 都市圏ビジョンに引き続き、第２期 都市圏ビジョンにおいても、「海・山・街道を活かした多極連携・交流都市圏」を目指す圏域の将来像に掲げます。

２　圏域が目指す人口目標

【 短 期 】　１１１万人 ・・・・・・　２０２５年
【 長 期 】　１００万人 ・・・・・・　２０４０年

第１期 都市圏ビジョンにおいては、「短期目標 115 万人（2025 年）／長期目標 100 万人（2060 年）」を将来目標人口に掲げました。この目標値は、第１期 都市圏ビジョン策定時に各市町がそれぞれの人口ビジョンに掲げていた目標値を合計したものですが、令和２年（2020 年）国勢調査では、５市２町の人口の総数は 1,145,922 人であり、すでに短期目標（115 万人（2025 年））を下回る状況にあります。

この状況については、各市町の目標値の合計が、結果として高い目標設定であったことが考えられますが、第２期 都市圏ビジョンにおいては、人口減少に歯止めがかからない状況が続く社会情勢に即した目標の設定を行うため、「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）」を踏まえつつ、静岡県の「美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生 長期人口ビジョン」における県中部地域の将来人口を参考に、「短期目標 111 万人（2025 年）／長期目標 100 万人（2040 年）」を将来人口目標に掲げて、取組を展開することとします。

第５章　施策の体系と重要業績評価指標（KPI）

１　施策の体系

海・山・街道を活かした多極連携・交流都市圏

取組の柱【１】　圏域全体の経済成長のけん引

取組の方向性
- ✔ 産学金官一体となった戦略策定
- ✔ 産業クラスター形成、新規創業促進
- ✔ 地域経済の裾野拡大
- ✔ 戦略的な観光施策　など

主な取組
- ・ビジョン懇談会の開催
- ・圏域経済拡大支援事業
- ・地域連携 DMO 推進事業
- ・街道観光プロモーション事業

基本目標
- ★ 法人住民税（均等割）の納税義務者数　・・・・・・・・・・　31,612 件（2026 年）
  【基準値】 31,612 件（2017-2020 年平均）／【現状値】 31,733 件（2020 年）
- ★ 観光交流客数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3,085 万人（2026 年）
  【基準値】3,085 万人（2017-2020 年平均）／【現状値】1,588 万人（2020 年）

取組の柱【２】　高次の都市機能の集積・強化

取組の方向性
- ✔ 高度な医療サービスの提供
- ✔ 高度な中心拠点の整備
- ✔ 高等教育・研究開発の環境整備　など

主な取組
- ・感染症患者への対応
- ・鉄道結節点改善事業
- ・大学連携事業
- ・海洋産業共創事業

基本目標
- ★ 静岡市中心市街地における歩行者通行量　・・・・・・・　125,508 人（2026 年）
  【基準値】125,508 人（2017-2020 年平均）／【現状値】86,398 人（2020 年）

取組の柱【３】　圏域全体の生活関連機能サービスの向上

取組の方向性
- ✔ 生活機能の強化
- ✔ 結びつきやネットワークの強化
- ✔ 圏域マネジメント能力の強化　など

主な取組
- ・都市間交通の利便性向上事業
- ・移住促進事業
- ・共通電子申請サービス利用事業
- ・圏域内市町職員の人事交流

基本目標
- ★ 人口社会動態（転入者数－転出者数）　・・・・・・・　±０人（2026 年）
  【基準】△509 人（2017-2021 年平均）【現状値】△1,281 人（2021 年）

圏域が目指す将来像での実現に向けては、「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」及び「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の３つを、取組の柱に掲げます。また、それぞれの取組の柱には、基本目標を設定し、取組の方向性の下に、具体的な取組を実施します。

なお、具体的な取組の実施にあたっては、国際連合により採択された「SDGｓ」や、新型コロナウイルス感染症の拡大、デジタル革命の本格化などの社会変容を踏まえた視点を持ちつつ、取り組むこととします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

２　重要業績評価指標（KPI）

取組の柱・取組の方向性		重要業績評価指標（KPI）	基準(現状)値 R3(2021)年度		目標値 R5(2023)年度		目標値 R8(2026)年度
経済成長のけん引	産学金官民一体となった戦略の策定 等	ビジョン懇談会開催回数	1回	→	1回	→	3回
	産業クラスターの形成、新規創業促進 等	創業に関する相談件数	300件	→	300件	→	300件
	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	① 商品改良数 ② 商談件数	① 10件 ② 13件	→	① 10件 ② 630件	→	① 10件 ② 630件
	戦略的な観光施策	延べ宿泊者数	2,326千人	→	3,000千人	→	3,540千人
高次都市機能の集積・強化	高度な医療サービスの提供	第１種感染症指定医療機関数	１施設	→	１施設	→	１施設
	高度な中心拠点の整備 等	JR静岡駅乗降客数	1,554万人	→	1,664万人	→	2,000万人
	高等教育・研究開発の開発整備	大学連携課題解決研究件数	20件	→	30件	→	35件
生活関連サービスの向上	生活機能の強化	子育て支援施設利用者数	119,000人	→	120,000人	→	150,000人
		大学連携課題解決研究件数（再掲）	20件	→	30件	→	35件
		５市２町イベント情報誌発行回数	3回	→	4回	→	4回
	結びつきやネットワークの強化	パス停等の利用環境整備	累計3か所	→	累計5か所	→	累計8か所
		移住相談組数	50組	→	111組	→	135組
	圏域マネジメント能力の強化	合同職員研修開催回数	1回	→	1回	→	1回
		人事交流人数	8人	→	8人	→	8人

それぞれの取組の柱には、取組の方向性ごとに重要業績評価指標（KPI:Key Performance Indicator）を設定し、進捗管理を図ることとします。

第６章　具体的取組

１　具体的取組（一覧）

（１）取組の柱１「 圏域全体の経済成長のけん引 」

取組の方向性	No.	事業名
産学金官一体となった戦略の策定 等	1	計画の推進・進捗管理
産業クラスターの形成、新規創業促進 等	2	起業・創業支援事業
	3	海洋産業共創事業
	4	水産業DX推進調査事業
	5	スタートアップ支援制度構築事業
	6	チャレンジショップ出店事業
地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	7	圏域経済拡大支援事業
	8	中小企業海外展開支援事業
	9	水産物を活用した産業活性化事業
	10	輸出拡大支援プラットフォーム構築事業
戦略的な観光施策	11	地域連携DMO推進事業
	12	インバウンド促進事業
	13	観光イベント支援事業
	14	大井川流域ニューツーリズム推進事業
	15	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携推進事業
	16	街道文化発信事業
	17	食を活用した街道観光プロモーション事業
	18	静岡県中部地域サイクルツーリズム推進事業
	19	来訪交流人口拡大事業

（２）取組の柱２「 高次の都市機能の集積・強化」

取組の方向性	No.	事業名
高度な医療サービスの提供	20	感染症患者への対応
高度な中心拠点の整備 等	21	鉄道駅交通結節点改善事業
高等教育・研究開発の環境整備	22	大学連携事業
	23	海洋産業共創事業（再掲）

（３）取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」

取り組みの方向性・分野		No.	事業名
生活機能の強化	地域医療	24	若年性認知症フォーラム開催事業
	福祉	25	子育て支援事業

取り組みの方向性・分野		No.	事業名
生活機能の強化	教育・文化・スポーツ	26	大学連携事業（再掲）
		27	中部地域における夜間中学校等研究事業
		28	図書館サービスの利用拡大事業
		29	するが４館連携事業
		30	スポーツを通じた青少年国際交流事業
		31	パラスポーツを通じたスポーツ振興及び共生社会創生事業
	地域振興	32	中部５市２町イベントニュース発行事業
		33	JR駅前等賑わい創出事業
		34	しずおか中部連携中枢都市圏PR事業
		35	PPP・PFI地域プラットフォーム事業
	災害対策	36	災害対策のための相互協力事業
		37	火災調査の広域支援事事業
	環境	38	地球温暖化対策の推進事業
		39	住宅等の断熱化に係る効果検証と普及啓発事業
		40	アース・キッズチャレンジ事業
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	41	都市間交通の利便性向上事業
	ICTインフラ整備	42	公衆無線LAN整備事業
		43	共通電子申請サービス利用事業
		44	行政サービスデジタル化推進事業
		45	コミュニティスペース整備事業
		46	行政のデジタル化検討会開催事業
	住民交流・移住促進	47	移住促進事業
		48	静岡市移住支援センター運営事業
		49	若者就職促進事業
		50	出会い・結婚サポート事業
		51	LGBTQフレンドリー推進事業
		52	多文化共生推進事業
圏域マネジメント能力の強化	人材育成	53	地域コミュニティ活性化事業
		54	生涯学習推進事業
		55	合同人材育成研修会の開催事業
		56	地域外交を推進するグローカル人材育成事業
	自治体職員の交流	57	圏域内市町の職員の人事交流事業

２　具体的取組（事業概要）

（１）取組の柱１「 圏域全体の経済成長のけん引 」

① 取組の方向性 「 産学金官民一体となった戦略の策定 等 」

産学金官民一体となった協議会の運営及び圏域の経済戦略の策定・推進・進捗管理等を通じて、経済成長を図る。

番　　号	1	事 業 名	計画の推進・進捗管理		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（１）】				
事業概要	しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催し、「しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」の推進と進捗管理を行う。				
ＳＤＧｓ	【８】働きがいも経済成長も				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	280	300	300	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって、実施する。 必要に応じて、その他の関係市町と協議し、決定する				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱１「 圏域全体の経済成長のけん引 」

② 取組の方向性 「 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成 等 」

戦略産業の育成に向け、人材育成や企業等の支援、起業・創業支援、産学金官のコーディネート等を行う。

番　　号	2	事 業 名	起業・創業支援事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（２）】				
事業概要	起業・創業者、中小企業者を支援するための相談受付や、セミナー・ビジネスプランコンテスト開催等を行う。				
ＳＤＧｓ	【８】働きがいも経済成長も				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	181,951	181,951	155,903	未定	未定
役割分担	静岡市、島田市、焼津市及び藤枝市が中心となって実施する。 必要に応じて、その他の関係市町と協議し、決定する				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	3	事 業 名	海洋産業共創事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☐ 島田市　☑ 焼津市　☐ 藤枝市 ☐ 牧之原市　☐ 吉田町　☐ 川根本町　【別表１（２）】				
事業概要	海洋関連産業における新事業創出に向けて、大学、研究機関及び企業等の連携による研究開発、人材育成等を行う。				
ＳＤＧｓ	【９】産業と技術革新の基盤をつくろう				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	9,468	9,521	9,221	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、その他の関係市町と協議し、決定する				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱１「 圏域全体の経済成長のけん引 」
取組の方向性 「産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、
地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成 等」

番　　号	4	事 業 名	水産業DX推進調査事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☐ 島田市　☑ 焼津市　☐ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☐ 川根本町　【別表１（２）】				
事業概要	ICT等の活用による「スマート水産業」の漁港への導入の実現に向けて、流通体制の現状調査・分析を行い、デジタル技術を活用した機能や施設、新たな流通体制の構築などの導入スキーム等の提案を行う。				
ＳＤＧｓ	【９】産業と技術革新の基盤をつくろう				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	5,000	－	－	未定	未定
役割分担	焼津市が中心となって実施する。 必要に応じて、その他の関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	5	事 業 名	スタートアップ支援制度構築事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（２）】				
事業概要	地域資源を活用したスタートアップを促進するためのビジネスコンテストの開催や仕組の構築を行う。				
ＳＤＧｓ	【９】産業と技術革新の基盤をつくろう				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	2,000	4,000	5,639	未定	未定
役割分担	牧之原市が中心となって実施する。 必要に応じて、その他の関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱１「 圏域全体の経済成長のけん引 」
取組の方向性 「産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、
地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成 等」

番　　号	6	事 業 名	チャレンジショップ出店事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（２）】				
事業概要	中小企業者等の売上増加、販路拡大等の事業成長及び経営ノウハウ蓄積によるさらなる飛躍を後押しするとともに、中心市街地及び商業の活性化を図るため、中小企業者等が大型商業施設に出店する取組みの支援を行う。				
ＳＤＧｓ	【９】産業と技術革新の基盤をつくろう				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	－	－	5,400	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、その他の関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

③ 取組の方向性 「 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大 」

地域資源のブランド化や、情報発信、商品・サービス開発及び販路開拓等を通じて、地域経済の活性化を図る。

番　　号	7	事 業 名	圏域経済拡大支援事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（３）】				
事業概要	首都圏におけるテストマーケティングや商談会の開催等により、販路開拓等の支援を行う。				
ＳＤＧｓ	【８】働きがいも経済成長も				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	14,600	14,100	14,900	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、その他の関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	8	事 業 名	中小企業海外展開支援事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（３）】				
事業概要	台湾におけるテストマーケティングやイベント実施を通じて、現地でのニーズを調査し、商品開発に活かすとともに、現地での営業代行、現地バイヤーとの商談会を行う。				
ＳＤＧｓ	【８】働きがいも経済成長も				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	5,400	5,900	7,900	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、その他の関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱１「 圏域全体の経済成長のけん引 」
取組の方向性 「 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大 」

番　　号	9	事 業 名	水産物を活用した産業活性化事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☐ 島田市　☑ 焼津市　☐ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☐ 川根本町　【別表１（３）】				
事業概要	「駿河ブルーライン」ブランドとして開発された商品、メニュー及び観光コースの圏域内外へのプロモーションを行う。				
ＳＤＧｓ	【８】働きがいも経済成長も				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	3,000	3,000	4,000	未定	未定
役割分担	静岡市、焼津市、牧之原市及び吉田町が中心となって実施する。 必要に応じて、その他の関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	10	事 業 名	輸出拡大支援プラットフォーム構築事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（３）】				
事業概要	圏域の特産品である茶をはじめとした農水産物の輸出先国を選定し、現地拠点の設置、現地での商談会開催、その前後にわたる交渉から契約締結、納品までの継続的な支援（営業代行）を行う。				
ＳＤＧｓ	【８】働きがいも経済成長も				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	－	－	26,600	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、その他の関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱１「 圏域全体の経済成長のけん引 」

④ 取組の方向性 「 戦略的な観光施策 」

観光資源を活用した広域観光ルートの造成やプロモーション、国内外観光客の受入環境整備の推進等を通じて、観光施策に戦略的に取り組む。

番　　号	11	事 業 名	静岡地域連携DMO推進事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（４）】				
事業概要	するが企画観光局が実施する、「Learn（学び）・Tea（お茶）・Sea（海）の３つの戦略に基づく商品開発の拡大及びプロモーション」、「圏域全体のデスティネーションブランディング・プロモーションの強化」及び「市場調査・効果測定」の支援を行う。				
ＳＤＧｓ	【８】働きがいも経済成長も				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	66,000	66,000	87,200	未定	未定
役割分担	するが企画観光局が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、全ての関係市町が負担する。				

番　　号	12	事 業 名	インバウンド促進事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（４）】				
事業概要	ウェーブプールを始めとする沿岸部の魅力や、富士山静岡空港及び御前崎港を効果的に活用したプロモーション、サーフィンイベントの誘致等を行う。				
ＳＤＧｓ	【８】働きがいも経済成長も				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	30,060	31,168	40,660	未定	未定
役割分担	牧之原市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市及び牧之原市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱１「 圏域全体の経済成長のけん引 」
取組の方向性 「 戦略的な観光施策 」

番　　号	13	事 業 名	観光イベント支援事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（４）】				
事業概要	観光資源を活用したイベント（凧揚げまつり、花火大会及び小山城まつり）を開催するとともに、圏域の宣伝につながる大規模イベントに対して補助金等の交付を行う。				
ＳＤＧｓ	【８】働きがいも経済成長も				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	14,003	17,120	19,520	未定	未定
役割分担	吉田町が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市及び吉田町が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	14	事 業 名	大井川流域ニューツーリズム推進事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（４）】				
事業概要	奥大井まで含めた大井川流域において、大井川鐵道と豊かな自然環境を効果的に活用したイベント開催等を行う。				
ＳＤＧｓ	【８】働きがいも経済成長も				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	29,650	29,650	31,650	未定	未定
役割分担	島田市及び川根本町が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱１「 圏域全体の経済成長のけん引 」
取組の方向性 「 戦略的な観光施策 」

番　　号	15	事 業 名	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携推進事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☐ 島田市　☐ 焼津市　☐ 藤枝市 ☐ 牧之原市　☐ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（４）】				
事業概要	南アルプスユネスコエコパークの理念の啓発とともに、南アルプスの魅力の情報発信を行う。				
ＳＤＧｓ	【15】陸の豊かさも守ろう				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	837	359	160	未定	未定
役割分担	静岡市及び川根本町が中心となって実施する。				
費用分担	静岡市及び川根本町が負担する。				

番　　号	16	事 業 名	街道文化発信事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（４）】				
事業概要	日本遺産に認定された丸子宿及び岡部宿等を中心に、街道を回遊できるイベント等を開催し、街道文化のプロモーションを行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	12,126	7,300	7,300	未定	未定
役割分担	藤枝市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱１「 圏域全体の経済成長のけん引 」
取組の方向性 「 戦略的な観光施策 」

番　　号	17	事 業 名	食を活用した街道観光プロモーション事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（４）】				
事業概要	日本橋において、圏域の食文化・自然等を活用した街道観光のプロモーションを行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	5,000	5,000	12,000	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、その他の関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	18	事 業 名	静岡中部地域サイクルツーリズム推進事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（４）】				
事業概要	圏域におけるサイクルツーリズムを推進するための情報発信を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	700	500	－	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、その他の関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱１「 圏域全体の経済成長のけん引 」
取組の方向性 「 戦略的な観光施策 」

<table>
<tr><td>番　　号</td><td>19</td><td>事 業 名</td><td colspan="3">来訪交流人口拡大事業</td></tr>
<tr><td>関係市町
・
連携協約</td><td colspan="5">☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市
☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表１（４）】</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">蓮華寺池公園を拠点に、子育て施設や飲食店等を有機的に結び付ける事業や、景色や撮影に良好な場所を公園内に掲示するなどのビューポイント設置を行う。</td></tr>
<tr><td>ＳＤＧｓ</td><td colspan="5">【11】住み続けられるまちづくりを</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>R4(2022)年度</td><td>R5(2023)年度</td><td>R6(2024)年度</td><td>R7(2025)年度</td><td>R8(2026)年度</td></tr>
<tr><td>2,200</td><td>－</td><td>－</td><td>未定</td><td>未定</td></tr>
<tr><td>役割分担</td><td colspan="5">藤枝市が中心となって実施する。
必要に応じて、その他の関係市町と協議し、決定する。</td></tr>
<tr><td>費用分担</td><td colspan="5">原則として、静岡市が負担する。
必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。</td></tr>
</table>

（２）取組の柱２「 高次の都市機能の集積・強化 」

① 取組の方向性 「 高度な医療サービスの提供 」

広域的な救急医療体制のほか、先進医療の充実など、医療サービスを安定的に提供できる体制の構築と、医療の質の向上などに取り組む。

番　　号	20	事 業 名	感染症患者への対応		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表２（１）】				
事業概要	感染症患者（一類）の入院治療を、第一種感染症指定医療機関である地方独立行政法人静岡市立静岡病院にて行う。				
ＳＤＧｓ	【３】すべての人に健康と福祉を				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	―	―	―	未定	未定
役割分担	静岡市（地方独立行政法人静岡市立静岡病院）が中心となって実施する。				
費用分担	原則として、静岡市（地方独立行政法人静岡市立静岡病院）が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

② 取組の方向性 「 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築 」

集客・交流拠点の整備・活用及び広域的交通網の活用等による圏域の魅力の創出に取り組む。

<table>
<tr><td>番　　号</td><td>21</td><td>事 業 名</td><td colspan="3">鉄道駅交通結節点改善事業</td></tr>
<tr><td>関係市町
・
連携協約</td><td colspan="5">☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市
☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表２（２）】</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">通勤及び通学などにおける利便性を高めるため、JR静岡駅周辺の整備を行う。</td></tr>
<tr><td>ＳＤＧｓ</td><td colspan="5">【11】住み続けられるまちづくりを</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>R4(2022)年度</td><td>R5(2023)年度</td><td>R6(2024)年度</td><td>R7(2025)年度</td><td>R8(2026)年度</td></tr>
<tr><td>51,360</td><td>82,150</td><td>70,000</td><td>未定</td><td>未定</td></tr>
<tr><td>役割分担</td><td colspan="5">静岡市が中心となって実施する。</td></tr>
<tr><td>費用分担</td><td colspan="5">静岡市が負担する。</td></tr>
</table>

③ 取組の方向性 「 高等教育・研究開発の環境整備 」

地域の未来を担う人材を育成する高等教育環境等の整備に取り組む。

番　　号	22	事 業 名	大学連携事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表２（３）】				
事業概要	圏域内の大学との連携により、地域の課題の解決方策の提言や解決のための研究を行う。 地域課題解決に取り組むための大学の活動拠点を確保し、圏域の住民等を対象とした講座開催を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	24,550	22,598	24,475	未定	未定
役割分担	静岡市、焼津市及び藤枝市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	23	事 業 名	海洋産業共創事業（再掲）		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☐ 島田市　☑ 焼津市　☐ 藤枝市 ☐ 牧之原市　☐ 吉田町　☐ 川根本町　【別表２（３）】				
事業概要	海洋関連産業における新事業創出に向けて、大学、研究機関及び企業等の連携による研究開発、人材育成等を行う。				
ＳＤＧｓ	【14】海の豊かさを守ろう				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	9,468	9,521	9,221	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

（３）取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」

① 取組の方向性 「 生活機能の強化 」

・ 地域医療分野

病診連携の一層の推進や、自治体連携による地域医療支援病院の体制強化など、地域医療の強化に取り組む。

<table>
<tr><td>番　　号</td><td>24</td><td>事 業 名</td><td colspan="3">若年性認知症フォーラム開催事業</td></tr>
<tr><td>関係市町・連携協約</td><td colspan="5">☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市
☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（１）】</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">若年性認知症患者や、その家族を支援するため、若年性認知症への理解を深めるフォーラム開催を行う。</td></tr>
<tr><td>ＳＤＧｓ</td><td colspan="5">【３】すべての人に健康と福祉を</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>R4(2022)年度</td><td>R5(2023)年度</td><td>R6(2024)年度</td><td>R7(2025)年度</td><td>R8(2026)年度</td></tr>
<tr><td>203</td><td>205</td><td>－</td><td>未定</td><td>未定</td></tr>
<tr><td>役割分担</td><td colspan="5">静岡市が中心となって実施する。
必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。</td></tr>
<tr><td>費用分担</td><td colspan="5">原則として、静岡市が負担する。
必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。</td></tr>
</table>

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 生活機能の強化 」

・ 福祉分野

地域包括ケアの推進よる在宅医療・介護の推進、障がい者を地域で受け入れる共生社会の推進、結婚や子育てを応援する地域づくりなどに取り組む。

<table>
<tr><td>番　　号</td><td>25</td><td>事 業 名</td><td colspan="3">子育て支援事業</td></tr>
<tr><td>関係市町・連携協約</td><td colspan="5">☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市
☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（１）】</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">子育て支援施設間の連携による情報発信により、圏域住民の施設利用を促すとともに、講座やイベント開催を行う。</td></tr>
<tr><td>ＳＤＧｓ</td><td colspan="5">【３】すべての人に健康と福祉を</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>R4(2022)年度</td><td>R5(2023)年度</td><td>R6(2024)年度</td><td>R7(2025)年度</td><td>R8(2026)年度</td></tr>
<tr><td>7,730</td><td>7,000</td><td>9,488</td><td>未定</td><td>未定</td></tr>
<tr><td>役割分担</td><td colspan="5">焼津市及び藤枝市が中心となって実施する。
必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。</td></tr>
<tr><td>費用分担</td><td colspan="5">原則として静岡市が負担する。
必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。</td></tr>
</table>

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 生活機能の強化 」

・ 教育、文化、スポーツ分野

文化・スポーツ振興及びこれらを通じた交流人口の拡大と地域振興を図るほか、社会教育施設等の相互利用の推進、大学等の教育機関との連携による生涯教育の推進などに取り組む。

番　　号	26	事 業 名	大学連携事業（再掲）		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	圏域内の大学との連携により、地域の課題の解決方策の提言や解決のための研究を行う。 地域課題解決に取り組むための大学の活動拠点を確保し、圏域の住民等を対象とした講座開催を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	24,550	22,598	24,475	未定	未定
役割分担	静岡市、焼津市及び藤枝市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	27	事 業 名	中部地域における夜間中学校等研究事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	中部地域における夜間中学の設置の必要性を検討し、方針の協議を行う。				
ＳＤＧｓ	【４】質の高い教育をみんなに				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	－	150	－	未定	未定
役割分担	原則として、静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 生活機能の強化 」

番　　号	28	事 業 名	図書館サービス利用の拡大		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	圏域住民に対し、図書館カードを発行し、館外貸出しや予約受付などの図書館サービスの提供を広く行う。				
ＳＤＧｓ	【４】質の高い教育をみんなに				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	4	4	4	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	29	事 業 名	するが４館連携事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☐ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☐ 牧之原市　☐ 吉田町　☐ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	圏域の文学館等を巡るスタンプラリーの開催を行う。				
ＳＤＧｓ	【４】質の高い教育をみんなに				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	492	487	472	未定	未定
役割分担	静岡市、焼津市及び藤枝市が中心となって実施する。				
費用分担	静岡市、焼津市及び藤枝市が負担する。				

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 生活機能の強化 」

番　　号	30	事 業 名	スポーツを通じた青少年国際交流事業（台湾との高校生相互派遣）		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	台湾で開催される陸上選手権への圏域の高校生の派遣を行う。 台湾の高校生代表選手を招聘し、圏域の高校生との陸上交流大会の開催を行う。				
ＳＤＧｓ	【４】質の高い教育をみんなに				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	8,000	7,000	4,763	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	31	事 業 名	パラスポーツを通じたスポーツ振興及び共生社会創生事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	パラバドミントンサポートシティである静岡市が中心となり、圏域市町と連携したパラバドミントン交流会・大会・体験教室開催を行う。				
ＳＤＧｓ	【10】人や国の不平等をなくそう				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	1,120	1,100	－	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 生活機能の強化 」

・ 地域振興分野

文化・スポーツ振興及びこれらを通じた交流人口の拡大と地域振興を図るほか、社会教育施設等の相互利用の推進、大学等の教育機関との連携による生涯教育の推進などに取り組む。

番　　号	32	事 業 名	中部５市２町イベントニュース発行事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	各市町のイベント情報を掲載した広報紙の発行、テレビ番組における情報発信及びウェブサイト・アプリへの情報掲載を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	3,000	3,000	－	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	33	事 業 名	JR駅前等賑わい創出事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☐ 牧之原市　☐ 吉田町　☐ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	JR駅前等において、イルミネーション等のイベントを開催するとともに、一体的又は相互に、イルミネーション情報の発信を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	36,500	40,400	42,800	未定	未定
役割分担	静岡市、島田市、焼津市及び藤枝市が実施する。				
費用分担	原則として静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 生活機能の強化 」

番　　号	34	事 業 名	しずおか中部連携中枢都市圏PR事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	圏域で開催されるイベントにおけるプロモーション等、しずおか中部連携中枢都市圏の周知活動を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	1,000	400	－	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	35	事 業 名	静岡市PPP/PFI地域プラットフォーム事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	圏域の民間企業や自治体職員を対象に、「PPP/PFI事業のノウハウの習得」、「PPP／PFIを受注するための異業種間のネットワークの構築」及び「自治体からの案件情報の提供」を目的としたプラットフォームセミナー開催を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	200	200	200	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 生活機能の強化 」

・ 災害対策分野

災害・減災対策の推進・強化などに取り組む。

番　　号	36	事 業 名	災害対策のための相互協力事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	災害対策に関する情報共有等を行うとともに、「大規模災害に係る相互援助の実施等に関する協定」に基づき、災害時における相互援助を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	―	―	―	未定	未定
役割分担	関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	必要に応じて協議し、関係市町が負担する。				

番　　号	37	事 業 名	火災調査の広域支援事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	静岡市が保有する鑑識・鑑定資機材を活用し、圏域内で発生した火災のうち要請のあるものについて技術支援を行う。 静岡市が行う火災調査研修・事例発表等に圏域内職員の受け入れを行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	―	―	―	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 生活機能の強化 」

・ 環境分野

豊かで多様な環境を将来の世代へ継承し、持続可能な社会を実現するため、自然環境の保全、地球温暖化対策の推進及びごみの減量・資源化などに取り組む。

番　　号	38	事 業 名	地球温暖化対策の推進事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	しずおか中部連携中枢都市圏における、脱炭素先行地域づくり計画の提案に繋げるための調査等を行う。				
ＳＤＧｓ	【13】気候変動に具体的な対策を				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	649	25,000	10,000	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	39	事 業 名	住宅等の断熱化に係る効果検証と普及啓発事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　□ 島田市　☑ 焼津市　□ 藤枝市 □ 牧之原市　□ 吉田町　□ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	建物の断熱化の有効性に関するセミナーや、市民参加型断熱化施工体験ワークショップの開催、効果検証及び啓発手法の検討を行う。				
ＳＤＧｓ	【13】気候変動に具体的な対策を				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	－	3,410	1,603	未定	未定
役割分担	焼津市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 生活機能の強化 」

番　　号	40	事 業 名	アース・キッズチャレンジ事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☐ 島田市　☑ 焼津市　☐ 藤枝市 ☐ 牧之原市　☐ 吉田町　☐ 川根本町　【別表３（１）】				
事業概要	環境教育の一環として、小学生を対象に、地球環境の問題についての学習機会の提供を行う。				
ＳＤＧｓ	【13】気候変動に具体的な対策を				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	―	452	594	未定	未定
役割分担	焼津市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

② 取組の方向性 「 結びつきやネットワークの強化 」

・ 地域公共交通分野

地域住民の移動手段の確保及び利便性の向上、まちの賑わい創出及び人の交流促進などを図るため、地域公共交通ネットワークの維持・強化に取り組む。

<table>
<tr><td>番　　号</td><td>41</td><td>事 業 名</td><td colspan="3">都市間交通の利便性向上事業</td></tr>
<tr><td>関係市町
・
連携協約</td><td colspan="5">☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市
☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☐ 川根本町　【別表３（２）】</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">通勤、通学及び観光等における利便性向上を図るため、牧之原市、吉田町、静岡市を結ぶ、特急静岡相良線のバス停等の利用環境整備の支援を行う。
特急静岡相良線のバス停から遠い地点と、バス停とを結ぶ「新しい交通」としてオンデマンド型乗合タクシーの実証実験を行う。
また、牧之原市内在住の高校生等を対象に、市内を運行する路線バスに係る定期券購入に対して補助金を交付する。</td></tr>
<tr><td>ＳＤＧｓ</td><td colspan="5">【11】住み続けられるまちづくりを</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>R4(2022)年度</td><td>R5(2023)年度</td><td>R6(2024)年度</td><td>R7(2025)年度</td><td>R8(2026)年度</td></tr>
<tr><td>16,500</td><td>40,427</td><td>68,068</td><td>未定</td><td>未定</td></tr>
<tr><td>役割分担</td><td colspan="5">牧之原市及び吉田町が中心となって実施する。
必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。</td></tr>
<tr><td>費用分担</td><td colspan="5">原則として、静岡市が負担する。
必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。</td></tr>
</table>

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 結びつきやネットワークの強化 」

・ ICTインフラ整備分野

地域住民等の利便性向上を図るため、公衆無線LANの整備や、電子申請サービスの利用など、ICTインフラの維持・強化や、行政のデジタル化に取り組む。

番　　号	42	事 業 名	公衆無線LAN整備事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（２）】				
事業概要	公衆無線LANサービスの名称や、ポータルサイトを共同利用するとともに、公衆無線LANアクセスポイントの整備推進を行う。 住民等の利便性向上や、観光戦略等に活かすことを目的に、観光施設等におけるWi-Fi環境の整備を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	6,995	4,995	6,000	未定	未定
役割分担	静岡市及び吉田町が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	43	事 業 名	共通電子申請サービス利用事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（２）】				
事業概要	住民等の利便性向上や、各市町の行政運営の効率化を図るため、圏域の自治体で共通の電子申請サービスの利用を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	10,435	10,435	10,435	未定	未定
役割分担	関係市町がそれぞれ中心となって実施する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 結びつきやネットワークの強化 」

番　　号	44	事 業 名	行政サービスデジタル化推進事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☐ 島田市　☑ 焼津市　☐ 藤枝市 ☐ 牧之原市　☐ 吉田町　☐ 川根本町　【別表３（２）】				
事業概要	公共施設利用者の利便性の向上を図るため、施設のオンライン予約システム導入を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	4,180	－	－	未定	未定
役割分担	焼津市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	45	事 業 名	コミュニティスペース整備事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☐ 川根本町　【別表３（２）】				
事業概要	牧之原市、吉田町、静岡市を結ぶ、特急静岡相良線のバス待合所の機能等を有する施設をテレワークスペース等の機能を備えた施設に改修するための支援を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	10,000	－	－	未定	未定
役割分担	吉田町が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 結びつきやネットワークの強化 」

<table>
<tr><td>番　　号</td><td>46</td><td>事 業 名</td><td colspan="3">５市２町 行政のデジタル化検討会の開催</td></tr>
<tr><td>関係市町
・
連携協約</td><td colspan="5">☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市
☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（２）】</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">行政のデジタル化に関する情報交換や連携した取組についての検討を行う。</td></tr>
<tr><td>ＳＤＧｓ</td><td colspan="5">【11】住み続けられるまちづくりを</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事 業 費
（千円）</td><td>R4(2022)年度</td><td>R5(2023)年度</td><td>R6(2024)年度</td><td>R7(2025)年度</td><td>R8(2026)年度</td></tr>
<tr><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>未定</td><td>未定</td></tr>
<tr><td>役割分担</td><td colspan="5">静岡市が中心となって実施する。
必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。</td></tr>
<tr><td>費用分担</td><td colspan="5">原則として静岡市が負担する。
必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。</td></tr>
</table>

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 結びつきやネットワークの強化 」

・ 住民交流、移住促進分野

交流人口の拡大や、首都圏等からの移住、企業の人材確保、UIJターン就職につなげるための情報発信などに取り組む。

番　　号	47	事 業 名	移住促進事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（２）】				
事業概要	圏域への移住促進を図るため、首都圏等で開催される移住イベントへの合同出展や、移住体験ツアーの開催を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	6,000	4,800	4,800	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	48	事 業 名	静岡市移住支援センター運営事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（２）】				
事業概要	東京 有楽町の「静岡市移住支援センター」において、移住相談を行うなど、主に首都圏在住者を対象とした移住支援を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	18,594	18,462	20,150	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 結びつきやネットワークの強化 」

番　　号	49	事 業 名	若者就職促進事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☐ 牧之原市　☐ 吉田町　☐ 川根本町　【別表３（２）】				
事業概要	圏域内の高校生や、圏域内外の大学生等を対象に、地元企業の説明会開催等を行う。				
ＳＤＧｓ	【８】働きがいも経済成長も				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	14,250	14,250	14,250	未定	未定
役割分担	島田市、焼津市及び藤枝市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	50	事 業 名	出会い結婚サポート事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（２）】				
事業概要	圏域内住民の出会い・結婚支援に関する相互の情報発信や情報交換、婚活イベント開催等を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	1,000	1,000	5,000	未定	未定
役割分担	藤枝市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 結びつきやネットワークの強化 」

番　　号	51	事 業 名	LGBTQフレンドリー推進事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（２）】				
事業概要	性的少数者の支援、理解者育成及び情報共有を行うための交流会開催を行う。				
ＳＤＧｓ	【５】ジェンダー平等を実現しよう				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	780	375	677	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	52	事 業 名	多文化共生推進事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（２）】				
事業概要	多文化共生意識の更なる向上及び外国人住民を支援するためのイベント開催を行う。				
ＳＤＧｓ	【10】人や国の不平等をなくそう				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	3,989	5,394	－	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

③ 取組の方向性 「 圏域マネジメント能力の強化 」

・ 人材育成分野

地域の個性を磨ぎ、圏域の自立を担う人材や団体の育成などに取り組む。

番　　号	53	事 業 名	地域コミュニティ活性化事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（３）】				
事業概要	豊かな地域づくりをコーディネートできる人材を発掘・養成するための講座開催を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	1,940	3,340	1,740	未定	未定
役割分担	焼津市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	54	事 業 名	生涯学習推進事業（「静岡シチズンカレッジこ・こ・に」推進事業）		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（３）】				
事業概要	「構想力」「行動力」「人間力」を兼ね備えた市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材を養成するための講座開催を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	20,360	26,787	25,991	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 圏域マネジメント能力の強化 」

番　　号	55	事 業 名	合同人材育成研修会の開催		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（３）】				
事業概要	圏域の自治体職員を対象に、職務遂行に必要な知識習得のための合同研修会開催を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	250	250	250	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

番　　号	56	事 業 名	地域外交を推進するグローカル人材育成事業		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（３）】				
事業概要	圏域の自治体・団体職員を対象に、インバウンド促進・国際交流の推進において必要となる知識とスキルを身に着けるための研修開催等を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	1,000	1,000	－	未定	未定
役割分担	静岡市が中心となって実施する。 必要に応じて、関係市町と協議し、決定する。				
費用分担	原則として、静岡市が負担する。 必要に応じて協議し、その他の関係市町が負担する。				

取組の柱３「 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 」
取組の方向性「 圏域マネジメント能力の強化 」

・ 自治体職員の交流分野

圏域の自治体間のネットワークの形成や、自治体職員の育成のための人事交流に取り組む。

番　　号	57	事 業 名	圏域内市町の職員の人事交流		
関係市町・連携協約	☑ 静岡市　☑ 島田市　☑ 焼津市　☑ 藤枝市 ☑ 牧之原市　☑ 吉田町　☑ 川根本町　【別表３（３）】				
事業概要	圏域内の自治体間における人事交流を行う。				
ＳＤＧｓ	【11】住み続けられるまちづくりを				
事 業 費（千円）	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度
	―	―	―	未定	未定
役割分担	関係市町の協議により、決定する。				
費用分担	関係市町の協議により、決定する。				